

日米のグローバル協力に関するファクト・シート (概要)

日本と米国は人間の安全保障、経済的繁栄及び政治的安定性を増進するために、世界で協働する。12月3日に東京での会合において、幅広い議論の一部として、安倍晋三総理とジョー・バイデン副大統領は、我々のグローバル・パートナーシップの以下の側面を強調した。

人道支援・災害救援

災害救援

- ・ フィリピン政府等に対し人道支援、災害救援を提供する日米相互の強いコミットメントを確認
- ・ 今後、フィリピンをはじめとする東南アジアの災害救援・復興訓練、能力強化の支援で協力

防災

- ・ ASEAN各国において自然災害に関する緊急情報伝達システムを確立するための連携を追求
- ・ 米国は2015年に仙台で行われる第3回国連防災世界会議における日本の役割を支持

開発援助

海外援助における連携

- ・ 日米は包括的な海外開発援助を通じた平和、安定及び経済成長促進を追求
- ・ 援助の効果を最大化するため、日米は新しく、定期的な、高級実務者レベルの開発対話を開始
 - このイニシアティブの主な焦点は東南アジア。日米はより戦略的なODAの活用を通じて地域の平和と安定を確保するために協力。日米は、ミャンマーがASEANの議長を務める2014年を、日米協力による支援の焦点とする。
 - 日米は深い繋がりのある大洋州地域で協働する。2012年の第6回太平洋・島サミットにおける沖縄「絆」宣言にあるように、日本は協力強化のため3年間で5億ドルをコミットした。米国は太平洋地域における協働の関与を強化する日本のパートナーシップを歓迎。
 - もう一つの地域の焦点はアフリカ。日本はODA約1.4兆円を含む官民による最大約3.2兆円を活用したアフリカのための確固たる包括的支援パッケージを発表。米国はアフリカにおいて電力へのアクセスを拡大する日本政府と民間とのパートナーシップを歓迎。

国際保健

- ・ 感染症の世界的拡大と戦うための前例のない努力に貢献するため、日本は、世界エイズ・結核・マラリア対策基金に当面8億ドルを貢献
- ・ この貢献は米国の「チャレンジ公約」からの4億ドルをもたらす（注：米国は各国からのすべての拠出額の半額分を最大額として世界基金に貢献予定）

ミレニアム開発目標

- ・ 日本と米国は、ミレニアム開発目標(MDGs)を強く支持、2015年までの達成の加速に対して積極的な努力をすることにコミット
- ・ 日本と米国は、2015年より先の開発議題を開発するために国際的なパートナーと協働することにコミット

女性のエンパワーメント(能力強化)

- ・ 日本と米国は、安倍総理による世界と日本で女性のためのより大きな経済的機会を促進するという約束と、オバマ大統領による世界中で女性と女兒の能力を強化するとのビジョンに沿って、世界で女性と女兒のための機会を拡大するコミットメントを共有
- ・ 両国は、ASEAN経済コミュニティ及びAPECにおける女性の経済的包摂の拡大の支援、女性の完全な経済参加と経済成長への貢献の最大化のための「APEC女性と経済フォーラム」の取組の促進、「スケーリング・アップ・ニュートリション・ムーブメント」への支援を通じた栄養改善の加速化、女兒の就学率の向上や職業訓練の提供のような措置を通じた環境の改善、UNウィメンを通じたものを含む平和と安全保障における女性の役割の促進といった協力を拡大することにコミット
- ・ 日米はまた、メコン地域におけるそれぞれの戦略における資源を利用し、人道支援における女性の役割を強化し、人道支援システムの能力を改善し、紛争下における性的暴力担当国連事務総長特別代表による活動を力強く支援することによって性差に基づく課題を阻止し、これに対処するために協働

グローバルな安全保障への貢献

中東へのコミットメント

- ・ 中東への共有されたコミットメントを反映し、日米はパレスチナの経済成長と組織形成の努力を支援
- ・ 日本は米国の高効果・小規模インフライニシアティブとパレスチナ経済イニシアティブを歓迎し、米国は日本の「自由と繁栄の回廊」構想及びパレスチナ開発のための東アジア協力促進会合(CEAPAD)イニシアティブの着実な進展を歓迎
- ・ 日米は中東和平プロセスについても連携を強化
- ・ 米国は1990年代半ばから約50億ドルをコミットするなどパレスチナの経済発展において第一位の貢献国であり、日本も1990年代半ばから二国間支援で

約13億5千万ドルを提供

シリアへのコミットメント

- ・ 日米は国際的取組に積極的に参加・貢献し、シリアと近隣諸国に人道支援を提供する必要性及び緊急性で一致
- ・ さらに、日米はシリアの化学兵器を廃棄するという国際社会の取組を支援するコミットメントを再確認
- ・ 日米は、生物、核・放射能・化学の脅威に対抗する世界の努力を進めるための大量破壊兵器の拡散防止の取組への強い支援を継続

海洋の安全及び海上安全保障

- ・ 日米は、東南アジア諸国に対する海洋の安全及び海上安全保障に関する能力構築支援において連携し、法の支配や基本的な原則に基づく海洋秩序を強化するため、様々な多国間フォーラムを通じて協働
- ・ 日本は米国によって提案された「拡大ASEAN船員訓練イニシアティブ」を支援
- ・ 日本はソマリア沖とアデン湾に派遣されている海上自衛隊の第151連合任務部隊への参加により、米国を含む国際社会の海賊対策の取組にさらに貢献

(了)